

発行:北恵株式会社 〒541-0054 大阪市中央区南本町3-6-14 TEL. 06-6251-6701
http://www.kitakei.jp/

テーマ:平成 29 年度 ZEH 支援事業 5 月 15 日からスタート

平成 29 年度の経済産業省の ZEH 支援事業の概要が公表になった。今年度、補助金額は減額されるが、木造や初めて取り組む事業者に加点するなど、できるだけ多くの事業者への普及を目指している。質の高い住宅が求められる中で、積極的な取り組みが期待される。

1. 採択戸数の増加のため、補助金は一戸あたり 75 万円に減額

ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)支援事業では、「エネルギー基本計画」(2014年4月閣議決定)において、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均で、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロとなる住宅(以下、「ZEH」という)の実現を目指す」とする政策目標が設定されている。

ZEH 支援事業は、ZEH ロードマップに基づき、ZEH を新築する、ZEH の新築建売住宅を購入する、または既築住宅を ZEH へ改修する者に補助金を交付するもので、平成 29 年度は、事業補助事業者(執行団体)の公募資料によると約 9,700 件(平成 28 年度補正予算分約 6,369 戸)の交付が見込まれている。

平成 29 年度の ZEH 支援事業は、平成 29 年 5 月 15 日から公募が開始される。今年度は一戸あたりの補助金額が 125 万円から 75 万円に引き下げられるなど、変更点が多くなっている。補助金の減額は事業の縮小ということではなく、同じ予算規模の中で、補助を受けられる住宅の戸数を増やしていくのが狙いとなっている。

公募	補助金額	補助件数		公募期間	事業期間
		(事業規模より想定)			
一次公募	75万円/ 戸	9,700件 程度	3,700件程度	5月15日～6月2日	12月15日
二次公募(予定)			(6月公開)	6月8日～6月23日	12月31日
三次公募(予定)			(7月公開)	7月3日～7月21日	平成30年1月21日
四次公募(予定)			(7月末公開)	7月31日～8月18日	平成30年1月28日

- 補助対象となりうる事業者
新築住宅の建築主、新築建売住宅の購入予定者、または既存戸建住宅の所有者

■ 交付の条件

- ① ZEH ロードマップにおける「ZEH の定義」を満たしていること。
- ② 申請する住宅は、SII※に登録された ZEH ビルダーが設計、建築または販売を行う住宅であること。
※ZEH 執行団体:環境共生イニシアチブ(通称 SII)。https://sii.or.jp/ 平成 28 年度に登録を受けた ZEH ビルダーで、ZEH ビルダー実績報告書を未提出の場合補助対象外。但し、一次公募に限り交付申請と ZEH ビルダー実績報告書の同日提出を可能とする。
- ③ BELS(建築物省エネルギー表示制度)など第三者認証を受け実績報告時に提出できること。
- ④ 導入する設備は本事業の要件を満たすものであること。

- ⑤ 要件を満たすエネルギー計測装置を導入すること。
- ⑥ 既存戸建住宅は、住宅全体の断熱改修を含み、導入する設備は全て新たに導入すること。
- ⑦ 申請する住宅の補助対象費用(蓄電システムを除く)は、SIIが定める上限額以下であること。

■ 補助金額および上限額

① 補助対象住宅

一戸あたり 定額 75 万円(地域区分・建物規模によらず全国一律)

※寒冷地特別外皮強化仕様(1、2 地域において外皮熱貫流率(UA 値)0.25 以下)の Nearly ZEH についても同額の補助金額となる。

② 蓄電システム

蓄電システムの補助額 : 初期実効容量 1kWh 当たり 4 万円

蓄電システムの補助額上限 : 補助対象経費の 1/3 または 40 万円のいずれか低い金額

※工事費は対象外

■ BELS の活用

設計した家が ZEH の条件にかなうかどうかを判定する資料として、「外皮計算書」「エネルギー計算書」が必須となる。平成 29 年度からは、申請手続の簡素にするため、BELS を活用することで先の資料の添付が不要となる。

BELS 値とは、建物の省エネ性能を示す指標で、Building Housing Energyefficiency Labeling System を省略し、BELS と呼ばれている。

設計一次エネルギー消費量に対し基準一次エネルギー消費量が何%かを算出、星の数で表す制度で、Building Energy Index の略である BEI とも呼ばれている。最高レベルの 0.8 は星 5 つで、ZEH の家はこの 5 つ星が求められる。BELS を実施する第三者機関により認定され、一般社団法人住宅性能評価・表示協会のサイトで確認できる。

2. 採択審査における加点ポイント制度

補助金の交付決定に当たっては、年間の一次エネルギー消費量削減率による評価に基づき、審査が行われる。各公募で事業規模を超える申請があった場合には、評価の高い順に採択される。その際、一定の要素を満たす場合に加点される。

採択実績の約 8 割がハウスメーカーが占める中で、地域工務店を中心とした ZEH ビルダーを支援し ZEH を広げる狙いが読み取れる。

■ 「外皮強化型 ZEH」に加点

「外皮強化型 ZEH」として地域区分ごとに定められた UA 値を下回る場合、外皮加点として 10 ポイント相当が加点される。基準となる UA 値は、1・2 地域が 0.3W/m²K、3~5 地域が 0.4W/m²K、6・7 地域が 0.5W/m²K 以下で、4・5 地域に限っては暫定措置として 0.5W/m²K 以下でも加点対象とみなされる。

■ 木造工法の加点

木造軸組工法または 2×4 工法とする場合に木造加点として 5 ポイント相当が加算される。

■ 未実績ビルダー加点

昨年度補正予算による「ZEH 普及加速事業」と同様、ZEH ビルダー登録事業者で採択実績がない場合に 10 ポイント相当が加点される。

また、国は、2020 年には「標準的な家が ZEH ないしはそれに近いもの」となることを目指しており、ZEH 基準で建てた家の仕様を不必要に上げないことを今年度から求める方針としている。

特に設備において、「オーバースペック(過剰な仕様)」とならないよう、ZEH ビルダーに求めている。詳細は今後決まっていくものと思われるが、いずれにせよ、仕様の標準化を誘導し、消費者にとって選択しやすい ZEH の家が普及してゆくと考えられる。

3. ZEH のさらなる普及に向けて

(1) ZEHビルダー評価制度の導入

ZEH の普及は、国を挙げて推進されている。これに伴い、実績ある ZEHビルダーを公表する「ZEHビルダー評価制度」を導入することが発表されている。平成 30 年(2018 年)から運用が始まるが、自社が掲げる目標の達成状況など、今年度から実績報告を行うことが求められている。

この仕組みが正式に動き出せば、「ZEH の家がほしい」と希望するお施主さまにとって、どの会社がよいのかを選択する際の大切な情報源となるはずである。

ZEH に取り組む住宅会社のがんばり度合を評価することで、数ある ZEHビルダーのなかでも、熱意がどの程度異なるのかを分かりやすくする。

評価する項目は、省エネルギー性能が高い ZEH を何棟建築したかといった実績のほか、どの程度 ZEH の普及に注力したかといった活動についても対象とするとしている。例えば、2017 年度内に ZEH の建築実績があるか、その実績は目標を達成したものか、実績報告を行っているか、ウェブサイトなどで実績を公表しているかなどとなっている。

(2) ZEHビルダーマークの導入

平成 25 年から、ZEHビルダーが名刺やウェブサイトなどで使用できるブランドマーク「ZEHビルダーマーク」の制度を開始。補助事業の執行団体である環境共創イニシアチブ(SII)によると、ZEHビルダー登録数は 2017 年 4 月 4 日時点で 5,636 件に上っている。省エネ性能が高い家づくりに取り組む住宅会社にとって、競合他社との差別化に活用できるツールとして注目されている。

ZEHビルダーを国が関わる形で評価する新制度が始まれば、ZEHビルダーのブランド力はさらに高まるだろう。今後、建て主が住宅会社を選ぶ指標の 1 つになる可能性も考えられる。もはや、「ZEH は対応できません」という工務店は生き残れない時代がやってくるかも知れない。



(3) 補助対象経費に上限

ZEH の自立普及と併せて ZEH の価格低減を推進するため、補助対象経費について上限が設けられた。経費に含まれるのは断熱材と窓、冷暖房設備、換気設備、エネファームを除く給湯設備で、工事費を含んだ販売価格となる。

これらの販売価格の合計について、床面積 1 m²あたりの単価が上限値を下回ることが求められている。上限値は地域区分ごと、かつエアコン仕様や温水暖房仕様、エネファーム仕様など、仕様ごとにそれぞれ定められている。

キタケイの提供するプライベートブランド

環境・ぬくもり・素材をテーマとした各種住宅資材 “ スプロートユニバーサル ”

企画・製造から販売までトータルにプロデュースし、心からご満足いただける住まいづくりをバックアップします



www. sprout-univ. com

遮熱・透湿・防水・防風

HEAT BARRIER SHEET II



規格サイズ

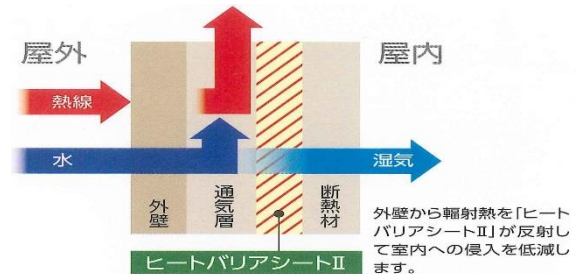
品名	ヒートバリアシートII
品番	HBI-50
サイズ	0.2mm×1,000mm×50m巻
入数	1本/ケース
税別価格	¥24,000-/本

⚠ ヒートバリアシートII 使用上のご注意

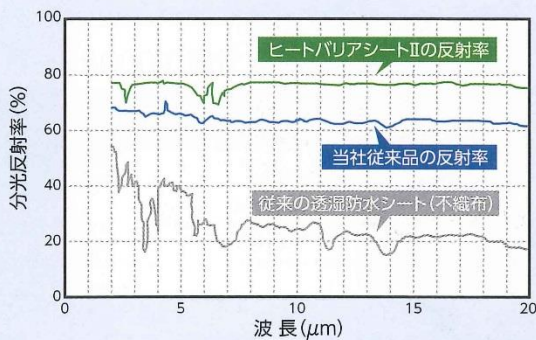
- ※当商品は壁用ですので、屋根、天井には使用しないでください。
- ※当商品を火や高熱物に近づけないでください。
- ※当商品を直射日光に当たる場所には保管、放置しないでください。

ヒートバリアシートIIの特徴

遮熱機能を持ち、かつ従来の透湿防水シートの施工性・高い透湿性と防水性を保持した商品です。遮熱性に反射率の高いアルミ箔ではなくアルミ特殊コーティング不織布を使用しているのも透湿性を確保する為です。透湿性能は内部結露を防止する上で非常に重要であり、高い透湿性がヒートバリアシートIIの特徴です。



■遮熱性



■遮熱効果(通過熱量差)

